

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	基本事業	文化・歴史遺産の保存と継承
----	--------------------	----	-------------------	------	---------------

部名	教育部	事業開始年度	平成22年度	区分1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	郷土資料館	事業終了年度	-年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	市民
意図	郷土資料館収蔵資料の公開を通じて、市民が郷土の歴史・文化に関心を持ってもらい、さらにはふるさと意識の醸成を図る。
手段	1.郷土資料館収蔵資料を中心とした企画展を開催する。 2.未公開資料を積極的に活用し、市民に多くの郷土資料を紹介する。 3.展示資料の追調査等を実施することによって、資料データの充実を図る。

事業量・コスト指標の推移		区分	単位	21年度実績	22年度実績	23年度予算	24年度予算	目標
対象指標1	市民		人		122,138	122,138	121,705	
対象指標2								
活動指標1	企画展開催数		回		1	2	2	
活動指標2	展示資料点数		点		308	100	100	
成果指標1	企画展入場者数		人		1,653	500	500	
成果指標2								
単位コスト指標								
事業費計(A)			千円	0	1,881	216	144	0
正職員人件費(B)			千円	0	4,030	2,444	2,428	0
総事業費(A)+ (B)			千円	0	5,911	2,660	2,572	0

**事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)**  
 事業費を見直し、成果を維持できる範囲内でコストを減少させた。

24年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持 : 現状の目的や方法に変更がなかつた24年度実施する事業
- 見直し : 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止 : 22年度もしくは23年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規 : 24年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低下			